

【訃報】

厚東正之氏(35 回生 名誉会員)逝去

京都支部 平成 30 年 5 月 4 日逝去、81 歳

略 歴

昭和 35 年 3 月 レントゲン技術専修学校卒業

昭和 35 年 4 月 三和銀行入職

学友会役員歴

昭和 54 年～平成 6 年 学友会理事

平成 7 年～平成 18 年 学友会副会長

平成 21 年 名誉会員

賞 罰

昭和 63 年 5 月 京都府知事表彰

平成 8 年 4 月 日本放射線技術学会功労賞

平成 21 年 5 月 学友会功労賞



厚東正之先生を偲んで

学友会副会長 西谷源展

厚東正之名誉会員が5月4日に逝去されたとの報を10日後に連絡を受けた。先生のことが今年のはじめ頃に少し気になっていたためにご自宅に電話したところ奥様から入院中で食事もままならず、点滴のみ過ごされていることを伺っていた。それから今日に訃報を受けることになった。

先生は高校卒業後、帝人株式会社の研究所に勤務されたのち、昭和33年にレントゲン技術専修学校(レ専校)に入学されている。昭和35年3月、卒業と同時に三和銀行診療所に勤務されている。厚東先生との出会いは、レ専校に入学して学内の実習だったと思う。先生は昭和40年から9年間実習の講師を三和銀行診療所に勤務の傍ら務められている。私は本校を昭和45年(1970年)に卒業と同時に教員として奉職したために親しくしていただくようになった。

昭和50年からX線撮影技術学の中で胃部透視撮影や間接撮影法などについて健康診断に関係する項目も担当していただき、校舎が園部町に移転するまで講義をお願いした。

昭和54年(1979年)からは学友会理事として就任していただき、その後には長年にわたって「学友だより」の編集委員長や副会長を歴任し、平成21年に名誉会員に推戴されている。学校関係や学友会関係以外でも、日本放射線技術学会の主要な委員会委員も務められ、平成元年から15年にわたって庶務委員長を担当して常務理事として活躍され、その功績によって日本放射線技術学会功労賞を受賞されている。

先生の暖かな人間性や温厚な性格は多くの人から敬愛され尊敬されていた。自分の考えはしっかりとしたものをお持ちであるが、他の人の意見も十分に聞かれ、決して批判したりすることはなく気軽に相談できる先生であった。テニスが得意であった先生とは山田勝彦先生や藤本信久先生(故人)、出島英雄氏(故人)らとプレーを楽しんだ。テニスの後のお酒はお決まりのコースであった。

私は昭和42年(1967年)にレ専校に入学したために、厚東先生とは50年間にわたってご指導を受けたことになる。半世紀の永きにわたって有難うございました。学友会についても40年間にわたり大変お世話になりました。先生のご冥福をお祈り申し上げます。

合 掌